

令和3年度第2回

島田市国民健康保険運営協議会

(別冊資料)

- ・令和4年度島田市国民健康保険事業特別会計当初予算(案) … P1～2
- ・特定健診・特定保健指導の結果 … P3～6
- ・国民健康保険税率設定の関係資料 … P7～9
- ・オンライン資格確認の普及支援策 … P10～11
- ・令和2年度医療費分析結果の概要 … P12～17
- ・減塩普及啓発事業の概要について(別冊) … P1～19

令和4年度島田市国民健康保険事業特別会計当初予算(案)

(歳入)

(単位:千円)

科目	令和4年度 予算額(A)	令和3年度 予算額(B)	増減 (A)-(B)	増減率 (%)	説明
1 国民健康保険税	1,805,001	1,758,620	46,381	2.64	
一般被保険者国保税	1,804,763	1,758,096	46,667	2.65	収納率(現年分95.5%、滞納分18%)
退職被保険者等国保税	238	524	△ 286	△ 54.58	収納率(滞納分18%)
2 使用料及び手数料	2	2	0	0.00	
3 県支出金	6,747,370	6,600,421	146,949	2.23	
普通交付金	6,558,444	6,406,464	151,980	2.37	
特別交付金	188,926	193,957	△ 5,031	△ 2.59	
4 財産収入	153	150	3	2.00	基金積立金利子
5 繰入金	735,767	884,505	△ 148,738	△ 16.82	
一般会計繰入金	672,766	679,063	△ 6,297	△ 0.93	
基金繰入金	63,001	205,442	△ 142,441	△ 69.33	
6 繰越金	1	1	0	0.00	
7 諸収入	70,339	57,312	13,027	22.73	保険税延滞金等
歳入合計	9,358,633	9,301,011	57,622	0.62	

(歳出)

(単位:千円)

科目	令和4年度 予算額(A)	令和3年度 予算額(B)	増減 (A)-(B)	増減率 (%)	説明
1 総務費	154,740	162,932	△ 8,192	△ 5.03	人件費等事務的経費、国保連への負担金等
2 保険給付費	6,584,169	6,438,342	145,827	2.27	
療養諸費	5,786,555	5,624,291	162,264	2.89	医療費の保険者負担分等
高額療養費	773,066	783,339	△ 10,273	△ 1.31	自己負担限度額を超過した場合等の給付分
移送費	80	100	△ 20	△ 20.00	
出産育児諸費	15,968	23,112	△ 7,144	△ 30.91	1件42万円(55件分)
葬祭諸費	8,000	7,500	500	6.67	1件5万円(150件分)
傷病手当費	500	0	500	-	新型コロナ関係傷病手当金
3 事業費納付金	2,404,065	2,487,642	△ 83,577	△ 3.36	
一般・医療給付費分	1,634,755	1,730,858	△ 96,103	△ 5.55	
退職・医療給付費分	344	747	△ 403	△ 53.95	
一般・後期高齢者支援金等分	583,023	577,549	5,474	0.95	
退職・後期高齢者支援金等分	90	90	0	0.00	
介護納付金分	185,853	178,398	7,455	4.18	
4 共同事業拠出金	10	10	0	0.00	
5 保健事業費	141,852	144,468	△ 2,616	△ 1.81	特定健診、特定保健指導、医療費適正化事業
6 基金積立金	153	153	0	0.00	基金積立金利子
7 公債費	1,644	1,644	0	0.00	
8 諸支出金	67,000	60,820	6,180	10.16	保険税還付金、還付加算金
9 予備費	5,000	5,000	0	0.00	
歳出合計	9,358,633	9,301,011	57,622	0.62	

令和4年度島田市国民健康保険事業特別会計当初予算(案) 保健事業費の内訳

事業名	予算額 (千円)	概要
職員給与費	15,126	保健指導等を実施する会計年度任用職員の人件費等 (実施業務) ●多受診・重複受診者への訪問指導 ●特定健診後の生活・健康指導 ●糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づく個別指導 など
人間ドック助成事業	18,884	国保加入の人間ドック受診者に対する助成金 (助成対象の検査機関) 7機関 島田市立総合医療センター、SBS静岡健康増進センター、 聖隷予防健診センター、聖隷健康サポートセンターShizuoka、 藤枝平成記念病院、総合健診センター・ヘルサポート、 西焼津健診センター
特定健康診査及び特定保健指導事業	88,620	40～74歳の国保加入者への特定健診、特定保健指導の実施 (健診項目) 基本項目、心電図検査、眼底検査、痛風検査、腎機能検査、 貧血検査、尿中アルブミン検査
医療費適正化推進事業	7,717	国保加入者への医療費適正化の啓発 (実施事業) ●医療費通知、後発医薬品差額通知 ●後発医薬品希望シールの作成・配布
糖尿病性腎症重症化予防事業	2,754	糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実践、個別保健指導 (実施事業) ●糖尿病性腎症重症化予防セミナー ●生活習慣病予防セミナー ●糖尿病性腎症重症化予防プログラム 服薬指導 ●減塩普及啓発業務(新規)
特定健診40歳前勧奨事業	1,640	35～39歳の国保加入者への健診、保健指導の実施 (健診項目) 基本項目、心電図検査、眼底検査、痛風検査、腎機能検査、 貧血検査、尿中アルブミン検査
特定健康診査受診勧奨事業	7,111	特定健診未受診者への特定健診の受診勧奨 (実施事業) ●AIを活用した受診勧奨

令和2年度 特定健診・特定保健指導の受診率等一覧表(法定報告)

	特定健診					特定保健指導				
	健診対象者 E	健診受診者 F	受診率 F/E	市町・組合別 受診率ランク	受診率 前年比	(積極的支援レベル+動機付け支援レベル)				
						対象者	終了者	実施率	市町・組合別 受診率ランク	実施率 前年比
県計	578,993	203,928	35.2%	-	↓ -3.5%	20,730	7,635	36.8%	-	↓ -1.0%
静岡市	102,657	34,240	33.4%	24位	↔ -0.7%	3,138	917	29.2%	27位	↓ -4.5%
浜松市	112,589	34,490	30.6%	28位	↓ -2.3%	3,748	636	17.0%	34位	↔ -0.7%
沼津市	31,106	10,384	33.4%	24位	↓ -4.3%	1,059	187	17.7%	33位	↓ -10.5%
熱海市	7,704	2,181	28.3%	31位	↓ -3.4%	240	39	16.3%	35位	↑ 4.3%
三島市	16,408	6,206	37.8%	15位	↓ -4.7%	584	185	31.7%	26位	↑ 1.4%
富士宮市	20,498	6,802	33.2%	26位	↓ -2.4%	730	181	24.8%	31位	↔ 0.7%
伊東市	15,346	6,800	44.3%	5位	↓ -5.5%	758	272	35.9%	23位	↑ 2.1%
島田市	15,033	6,131	40.8%	11位	↔ -0.8%	615	545	88.6%	1位	↓ -1.7%
富士市	37,300	11,010	29.5%	30位	↓ -5.5%	1,122	406	36.2%	22位	↔ -0.7%
磐田市	25,887	9,886	38.2%	14位	↓ -9.0%	898	672	74.8%	3位	↑ 2.4%
焼津市	20,611	7,466	36.2%	19位	↓ -1.8%	644	452	70.2%	6位	↑ 18.4%
掛川市	18,023	6,467	35.9%	21位	↓ -5.9%	673	466	69.2%	7位	↑ 23.7%
藤枝市	22,293	7,880	35.3%	22位	↓ -13.1%	723	485	67.1%	8位	↓ -2.5%
御殿場市	10,794	4,918	45.6%	4位	↓ -1.3%	511	134	26.2%	28位	↓ -14.4%
袋井市	12,156	5,319	43.8%	6位	↓ -7.0%	504	392	77.8%	2位	↑ 8.2%
下田市	4,835	1,087	22.5%	35位	↓ -8.4%	141	55	39.0%	18位	↓ -20.9%
裾野市	7,296	3,124	42.8%	8位	↓ -2.4%	374	122	32.6%	25位	↑ 2.1%
湖西市	9,027	4,272	47.3%	3位	↔ -0.3%	425	260	61.2%	10位	↓ -13.1%
伊豆市	6,459	2,631	40.7%	12位	↓ -1.9%	224	84	37.5%	20位	↓ -10.3%
御前崎市	5,576	2,283	40.9%	10位	↓ -2.6%	250	92	36.8%	21位	↓ -4.8%
菊川市	7,238	3,040	42.0%	9位	↑ 4.8%	287	118	41.1%	17位	↓ -7.3%
伊豆の国市	8,794	3,221	36.6%	17位	↓ -5.8%	263	63	24.0%	32位	↓ -14.6%
牧之原市	7,928	2,863	36.1%	20位	↓ -1.0%	328	162	49.4%	13位	↑ 8.3%
市計	525,558	182,701	34.8%	-	-	18,239	6,925	38.0%	-	-
東伊豆町	2,896	1,095	37.8%	15位	↓ -7.4%	161	42	26.1%	29位	↓ -1.4%
河津町	1,634	487	29.8%	29位	↓ -6.9%	63	26	41.3%	16位	↓ -2.0%
南伊豆町	2,128	505	23.7%	34位	↓ -17.0%	58	37	63.8%	9位	↓ -2.1%
松崎町	1,635	518	31.7%	27位	↓ -9.3%	60	35	58.3%	11位	↔ 0.8%
西伊豆町	1,849	480	26.0%	32位	↓ -14.5%	70	29	41.4%	15位	↓ -8.6%
函南町	6,468	1,670	25.8%	33位	↓ -9.1%	205	53	25.9%	30位	↓ -2.2%
清水町	4,236	1,539	36.3%	18位	↓ -4.3%	175	83	47.4%	14位	↔ 1.0%
長泉町	4,814	2,092	43.5%	7位	↓ -4.5%	199	77	38.7%	19位	↑ 11.8%
小山町	2,741	1,356	49.5%	2位	↑ 2.4%	140	49	35.0%	24位	↓ -1.2%
吉田町	4,044	1,365	33.8%	23位	↓ -5.3%	179	94	52.5%	12位	↑ 13.1%
川根本町	1,368	682	49.9%	1位	↑ 1.8%	56	40	71.4%	5位	↓ -8.6%
森町	3,222	1,281	39.8%	13位	↓ -1.2%	119	87	73.1%	4位	↑ 10.8%
町計	37,035	13,070	35.3%	-	-	1,485	652	43.9%	-	-
市町計	562,593	195,771	34.8%	-	↓ -3.6%	19,724	7,577	38.4%	-	↔ -0.8%
静岡市食品国民健康保険組合	2,242	821	36.6%	5位	↔ -0.7%	133	8	6.0%	2位	↔ 0.0%
静岡県医師国民健康保険組合	5,263	2,838	53.9%	2位	↔ 0.8%	265	14	5.3%	3位	↔ 0.8%
静岡県薬剤師国民健康保険組合	964	506	52.5%	3位	↑ 7.5%	54	0	0.0%	5位	↓ -2.6%
静岡県歯科医師国民健康保険組合	3,755	2,188	58.3%	1位	↔ 0.5%	240	12	5.0%	4位	↔ -0.2%
静岡県建設産業国民健康保険組合	4,176	1,804	43.2%	4位	↔ 0.4%	314	24	7.6%	1位	↔ -0.3%
組合計	16,400	8,157	49.7%	-	↔ 0.9%	1,006	58	5.8%	-	↔ -0.1%

令和2年度 特定健診法定報告受診率 静岡県：島田市比較

項目		40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	計
県 男女計	特定健康診査対象者数(人)	31,106	38,989	39,370	40,532	66,564	142,942	219,490	578,993
	特定健康診査受診者数(人)	6,328	8,297	9,024	10,876	22,146	56,463	90,794	203,928
	健診受診率(%)	20.3	21.3	22.9	26.8	33.3	39.5	41.4	35.2
島田市 男女計	特定健康診査対象者数(人)	663	750	810	916	1,762	4,059	6,073	15,033
	特定健康診査受診者数(人)	183	169	234	290	659	1,841	2,755	6,131
	健診受診率(%)	27.6	22.5	28.9	31.7	37.4	45.4	45.4	40.8
県 男	特定健康診査対象者数(人)	16,854	21,318	21,311	20,097	29,092	65,736	103,448	277,856
	特定健康診査受診者数(人)	2,854	3,969	4,142	4,632	8,345	24,004	40,869	88,815
	健診受診率(%)	16.9	18.6	19.4	23.0	28.7	36.5	39.5	32.0
島田市 男	特定健康診査対象者数(人)	388	428	437	446	753	1,883	2,915	7,250
	特定健康診査受診者数(人)	109	85	114	129	241	797	1,254	2,729
	健診受診率(%)	28.1	19.9	26.1	28.9	32.0	42.3	43.0	37.6
県 女	特定健康診査対象者数(人)	14,252	17,671	18,059	20,435	37,472	77,206	116,042	301,137
	特定健康診査受診者数(人)	3,474	4,328	4,882	6,244	13,801	32,459	49,925	115,113
	健診受診率(%)	24.4	24.5	27.0	30.6	36.8	42.0	43.0	38.2
島田市 女	特定健康診査対象者数(人)	275	322	373	470	1,009	2,176	3,158	7,783
	特定健康診査受診者数(人)	74	84	120	161	418	1,044	1,501	3,402
	健診受診率(%)	26.9	26.1	32.2	34.3	41.4	48.0	47.5	43.7

※色塗り箇所は県平均よりも5pt以上高い年齢階層

特定健診・結果【40～74歳男女計】1/2

受診率				メタボリックシンドローム												メタボリックシンドローム関連事項															
順位	令和2年度			該当者						予備群						肥満			脂質			脂質			ヘモグロビンA1c						
	保険者名	人数	割合	令和2年度			令和2年度			令和2年度			令和2年度			令和2年度			令和2年度			令和2年度		令和2年度		令和2年度		令和2年度			
				順位	人数	割合	順位	人数	割合	順位	人数	割合	順位	人数	割合	順位	人数	割合	順位	人数	割合	順位	人数	割合	順位	人数	割合	順位	人数	割合	
1	川根本町	682	49.9%	1	伊豆の国市	770	23.9%	1	裾野市	413	13.2%	1	小山町	421	31.0%	1	西伊豆町	136	28.3%	1	東伊豆町	71	6.5%	1	牧之原市	2,080	72.7%	1	川根本町	91	13.3%
2	小山町	1,356	49.5%	2	西伊豆町	114	23.8%	2	東伊豆町	142	13.0%	2	伊豆の国市	962	29.9%	2	下田市	283	26.0%	2	小山町	74	5.5%	2	吉田町	953	69.8%	2	伊豆市	346	13.2%
3	湖西市	4,272	47.3%	3	下田市	251	23.1%	3	松崎町	66	12.7%	3	伊豆市	783	29.8%	3	伊東市	1,744	25.6%	3	沼津市	555	5.3%	3	川根本町	452	66.3%	3	吉田町	176	12.9%
4	御殿場市	4,918	45.6%	4	伊豆市	595	22.6%	4	河津町	61	12.5%	4	御殿場市	1,433	29.1%	4	伊豆の国市	775	24.1%	4	吉田町	73	5.3%	4	焼津市	4,871	65.2%	4	牧之原市	357	12.5%
5	伊東市	6,800	44.3%	5	小山町	304	22.4%	5	沼津市	1,282	12.3%	5	熱海市	628	28.8%	5	御殿場市	1,179	24.0%	5	西伊豆町	24	5.0%	5	森町	774	60.4%	5	焼津市	881	11.8%
6	袋井市	5,319	43.8%	6	御殿場市	1,081	22.0%	6	富士宮市	824	12.1%	6	西伊豆町	137	28.5%	6	熱海市	522	23.9%	6	長泉町	104	5.0%	6	御前崎市	1,363	59.7%	6	西伊豆町	53	11.0%
7	長泉町	2,092	43.5%	7	熱海市	468	21.5%	7	清水町	184	12.0%	7	松崎町	145	28.0%	7	小山町	316	23.3%	7	伊東市	333	4.9%	7	島田市	3,835	59.3%	7	御前崎市	252	11.0%
8	裾野市	3,124	42.8%	8	吉田町	294	21.5%	8	下田市	129	11.9%	8	裾野市	867	27.8%	8	裾野市	719	23.0%	8	御殿場市	241	4.9%	8	伊豆市	1,401	53.2%	8	小山町	148	10.9%
9	菊川市	3,040	42.0%	9	静岡市	7,167	20.9%	9	富士市	1,275	11.6%	9	沼津市	2,845	27.4%	9	浜松市	7,720	22.4%	9	掛川市	310	4.8%	9	浜松市	17,579	51.0%	9	伊豆の国市	343	10.6%
10	御前崎市	2,283	40.9%	10	東伊豆町	226	20.6%	10	湖西市	489	11.4%	10	富士宮市	1,843	27.1%	10	長泉町	467	22.3%	10	清水町	73	4.7%	10	函南町	825	49.4%	10	森町	135	10.5%
11	島田市	6,131	40.8%	11	函南町	340	20.4%	11	袋井市	586	11.0%	11	清水町	415	27.0%	11	三島市	1,379	22.2%	11	伊豆の国市	150	4.7%	11	掛川市	3,179	49.2%	11	浜松市	3,618	10.5%
12	伊豆市	2,631	40.7%	12	富士市	2,231	20.3%	12	御殿場市	530	10.8%	12	函南町	450	26.9%	12	吉田町	303	22.2%	12	松崎町	24	4.6%	12	磐田市	4,801	48.6%	12	袋井市	548	10.3%
13	森町	1,281	39.8%	13	浜松市	7,014	20.3%	13	小山町	146	10.8%	13	下田市	286	26.3%	13	清水町	340	22.1%	13	御前崎市	103	4.5%	13	湖西市	2,074	48.5%	13	湖西市	438	10.3%
14	磐田市	9,886	38.2%	14	清水町	309	20.1%	14	長泉町	223	10.7%	14	長泉町	551	26.3%	14	松崎町	110	21.2%	14	牧之原市	130	4.5%	14	富士市	5,281	48.0%	14	磐田市	952	9.6%
15	三島市	6,206	37.8%	15	三島市	1,244	20.0%	15	磐田市	1,046	10.6%	15	富士市	2,890	26.2%	15	東伊豆町	225	20.5%	15	富士市	481	4.4%	15	伊豆の国市	1,535	47.7%	15	伊東市	631	9.3%
16	東伊豆町	1,095	37.8%	16	沼津市	2,045	19.7%	16	静岡市	3,617	10.6%	16	湖西市	1,107	25.9%	16	沼津市	2,116	20.4%	16	湖西市	186	4.4%	16	県計	93,013	47.5%	16	島田市	572	9.3%
17	伊豆の国市	3,221	36.6%	17	富士宮市	1,313	19.3%	17	浜松市	3,624	10.5%	17	東伊豆町	282	25.8%	17	富士市	2,248	20.4%	17	菊川市	130	4.3%	17	富士宮市	3,190	46.9%	17	県計	18,304	9.3%
18	清水町	1,539	36.3%	18	裾野市	598	19.1%	18	菊川市	315	10.4%	18	三島市	1,561	25.2%	18	函南町	335	20.1%	18	三島市	258	4.2%	18	菊川市	1,406	46.3%	18	三島市	567	9.1%
19	焼津市	7,466	36.2%	19	牧之原市	547	19.1%	19	伊東市	686	10.1%	19	静岡市	8,514	24.9%	19	県計	38,935	19.9%	19	裾野市	128	4.1%	19	袋井市	2,426	45.6%	19	御殿場市	446	9.1%
20	牧之原市	2,863	36.1%	20	長泉町	397	19.0%	20	函南町	168	10.1%	20	御前崎市	553	24.2%	20	御前崎市	444	19.4%	20	静岡市	1,406	4.1%	20	静岡市	15,188	44.4%	20	熱海市	196	9.0%
21	掛川市	6,467	35.9%	21	焼津市	1,398	18.7%	21	西伊豆町	48	10.0%	21	伊東市	1,629	24.0%	21	菊川市	591	19.4%	21	富士宮市	271	4.0%	21	御殿場市	2,019	41.1%	21	長泉町	189	9.0%
22	藤枝市	7,880	35.3%	22	川根本町	127	18.6%	22	熱海市	214	9.8%	22	浜松市	8,277	24.0%	22	掛川市	1,228	19.0%	22	県計	7,904	4.0%	22	裾野市	1,268	40.6%	22	富士宮市	602	8.9%
23	吉田町	1,365	33.8%	23	伊東市	1,243	18.3%	23	三島市	604	9.7%	23	焼津市	1,788	23.9%	23	伊豆市	496	18.9%	23	熱海市	86	3.9%	23	三島市	2,512	40.5%	23	掛川市	571	8.8%
24	沼津市	10,384	33.4%	24	磐田市	1,800	18.2%	24	島田市	592	9.7%	24	磐田市	2,293	23.2%	24	湖西市	804	18.8%	24	焼津市	282	3.8%	24	河津町	195	40.0%	24	富士市	924	8.4%
25	静岡市	34,240	33.4%	25	松崎町	93	18.0%	25	焼津市	722	9.7%	25	川根本町	154	22.6%	25	富士宮市	1,256	18.5%	25	伊豆市	99	3.8%	25	沼津市	4,147	39.9%	25	静岡市	2,874	8.4%
26	富士宮市	6,802	33.2%	26	湖西市	761	17.8%	26	南伊豆町	49	9.7%	26	牧之原市	644	22.5%	26	静岡市	6,205	18.1%	26	浜松市	1,323	3.8%	26	松崎町	206	39.8%	26	下田市	90	8.3%
27	松崎町	518	31.7%	27	御前崎市	386	16.9%	27	御前崎市	221	9.7%	27	南伊豆町	112	22.2%	27	森町	222	17.3%	27	函南町	58	3.5%	27	小山町	540	39.8%	27	裾野市	258	8.3%
28	浜松市	34,490	30.6%	28	袋井市	894	16.8%	28	掛川市	615	9.5%	28	袋井市	1,173	22.1%	28	磐田市	1,696	17.2%	28	袋井市	181	3.4%	28	東伊豆町	429	39.2%	28	函南町	135	8.1%
29	河津町	487	29.8%	29	河津町	80	16.4%	29	伊豆の国市	298	9.3%	29	吉田町	300	22.0%	29	河津町	82	16.8%	29	河津町	15	3.1%	29	清水町	597	38.8%	29	沼津市	805	7.8%
30	富士市	11,010	29.5%	30	島田市	998	16.3%	30	伊豆市	240	9.1%	30	藤枝市	1,710	21.7%	30	袋井市	881	16.6%	30	磐田市	287	2.9%	30	熱海市	838	38.4%	30	東伊豆町	85	7.8%
31	熱海市	2,181	28.3%	31	菊川市	483	15.9%	31	森町	100	7.8%	31	掛川市	1,390	21.5%	31	南伊豆町	84	16.6%	31	島田市	166	2.7%	31	西伊豆町	184	38.3%	31	清水町	117	7.6%
32	西伊豆町	480	26.0%	32	掛川市	1,022	15.8%	32	吉田町	105	7.7%	32	森町	276	21.5%	32	焼津市	1,229	16.5%	32	藤枝市	184	2.3%	32	長泉町	800	38.2%	32	藤枝市	582	7.4%
33	函南町	1,670	25.8%	33	森町	187	14.6%	33	藤枝市	599	7.6%	33	河津町	104	21.4%	33	島田市	994	16.2%	33	森町	29	2.3%	33	下田市	404	37.2%	33	河津町	34	7.0%
34	南伊豆町	505	23.7%	34	南伊豆町	73	14.5%	34	川根本町	50	7.3%	34	菊川市	622	20.5%	34	川根本町	109	16.0%	34	川根本町	15	2.2%	34	伊東市	2,486	36.6%	34	菊川市	212	7.0%
35	下田市	1,087	22.5%	35	藤枝市	1,068	13.6%	35	牧之原市	203	7.1%	35	島田市	1,210	19.7%	35	藤枝市	1,132	14.4%	35	南伊豆町	10	2.0%	35	南伊豆町	184	36.4%	35	南伊豆町	31	6.1%

特定健診・結果【40～74歳男女計】2/2

メタボリックシンドローム関連事項					
血圧					
正常高値～Ⅰ度(軽症)			Ⅱ度(中等症)～Ⅲ度(重症)		
令和2年度			令和2年度		
順位	保険者名	人数 割合	順位	保険者名	人数 割合
1	南伊豆町	278 55.0%	1	南伊豆町	96 19.0%
2	西伊豆町	263 54.8%	2	西伊豆町	76 15.8%
3	下田市	582 53.5%	3	河津町	54 11.1%
4	松崎町	261 50.4%	4	藤枝市	865 11.0%
5	藤枝市	3,934 49.9%	5	松崎町	46 8.9%
6	御殿場市	2,387 48.5%	6	伊豆市	228 8.7%
7	裾野市	1,509 48.3%	7	下田市	89 8.2%
8	御前崎市	1,095 48.0%	8	東伊豆町	83 7.6%
9	湖西市	2,027 47.4%	9	裾野市	230 7.4%
10	小山町	636 46.9%	10	川根本町	48 7.0%
11	川根本町	320 46.9%	11	御殿場市	324 6.6%
12	牧之原市	1,338 46.7%	12	菊川市	202 6.6%
13	函南町	770 46.1%	13	函南町	109 6.5%
14	焼津市	3,432 46.0%	14	牧之原市	186 6.5%
15	東伊豆町	503 45.9%	15	静岡市	2,147 6.3%
16	河津町	223 45.8%	16	焼津市	460 6.2%
17	静岡市	15,693 45.8%	17	伊東市	393 5.8%
18	伊豆市	1,200 45.6%	—	県計	11,161 5.7%
19	菊川市	1,361 44.8%	18	熱海市	120 5.5%
20	三島市	2,772 44.7%	19	森町	70 5.5%
21	富士市	4,904 44.5%	20	吉田町	74 5.4%
—	県計	86,373 44.1%	21	富士市	586 5.3%
22	熱海市	960 44.0%	22	湖西市	228 5.3%
23	富士宮市	2,971 43.7%	23	小山町	72 5.3%
24	伊豆の国市	1,405 43.6%	24	御前崎市	120 5.3%
25	長泉町	909 43.5%	25	沼津市	526 5.1%
26	吉田町	589 43.2%	26	伊豆の国市	165 5.1%
27	清水町	664 43.1%	27	浜松市	1,709 5.0%
28	掛川市	2,782 43.0%	28	清水町	71 4.6%
29	伊東市	2,898 42.6%	29	磐田市	448 4.5%
30	浜松市	14,656 42.5%	30	富士宮市	298 4.4%
31	袋井市	2,220 41.7%	31	長泉町	93 4.4%
32	磐田市	4,009 40.8%	32	三島市	269 4.3%
33	沼津市	4,052 39.9%	33	掛川市	278 4.3%
34	島田市	2,304 37.6%	34	袋井市	187 3.5%
35	森町	466 36.4%	35	島田市	211 3.4%

動脈硬化の危険因子					
LDL					
LDL120mg/dl以上					
令和2年度					
順位	保険者名	人数 割合	順位	保険者名	人数 割合
1	西伊豆町	298 62.1%	1	西伊豆町	298 62.1%
2	湖西市	2,579 60.4%	2	湖西市	2,579 60.4%
3	磐田市	5,916 59.8%	3	磐田市	5,916 59.8%
4	藤枝市	4,670 59.3%	4	藤枝市	4,670 59.3%
5	東伊豆町	647 59.1%	5	東伊豆町	647 59.1%
6	袋井市	3,117 58.6%	6	袋井市	3,117 58.6%
7	浜松市	20,218 58.6%	7	浜松市	20,218 58.6%
8	函南町	972 58.2%	8	函南町	972 58.2%
9	裾野市	1,814 58.1%	9	裾野市	1,814 58.1%
10	南伊豆町	293 58.0%	10	南伊豆町	293 58.0%
11	御前崎市	1,323 58.0%	11	御前崎市	1,323 58.0%
12	伊東市	3,881 57.1%	12	伊東市	3,881 57.1%
13	島田市	3,446 56.2%	13	島田市	3,446 56.2%
14	下田市	611 56.2%	14	下田市	611 56.2%
15	掛川市	3,606 55.8%	15	掛川市	3,606 55.8%
16	松崎町	289 55.8%	16	松崎町	289 55.8%
17	富士市	6,125 55.6%	17	富士市	6,125 55.6%
18	富士宮市	3,736 54.9%	18	富士宮市	3,736 54.9%
—	県計	107,521 54.9%	—	県計	107,521 54.9%
19	菊川市	1,665 54.8%	19	菊川市	1,665 54.8%
20	森町	689 53.8%	20	森町	689 53.8%
21	御殿場市	2,635 53.6%	21	御殿場市	2,635 53.6%
22	長泉町	1,106 52.9%	22	長泉町	1,106 52.9%
23	沼津市	5,471 52.7%	23	沼津市	5,471 52.7%
24	三島市	3,243 52.3%	24	三島市	3,243 52.3%
25	小山町	708 52.2%	25	小山町	708 52.2%
26	焼津市	3,793 50.8%	26	焼津市	3,793 50.8%
27	吉田町	692 50.7%	27	吉田町	692 50.7%
28	熱海市	1,104 50.6%	28	熱海市	1,104 50.6%
29	河津町	246 50.5%	29	河津町	246 50.5%
30	清水町	776 50.4%	30	清水町	776 50.4%
31	静岡市	17,224 50.3%	31	静岡市	17,224 50.3%
32	牧之原市	1,434 50.1%	32	牧之原市	1,434 50.1%
33	伊豆の国市	1,606 49.9%	33	伊豆の国市	1,606 49.9%
34	川根本町	332 48.7%	34	川根本町	332 48.7%
35	伊豆市	1,256 47.7%	35	伊豆市	1,256 47.7%

血管への影響																	
肝機能						腎機能											
ALT(GPT)31U/l以上						尿酸7.1mg/dl以上						クレアチニン男1.3以上、女1.2以上					
令和2年度						令和2年度						令和2年度					
順位	保険者名	人数 割合	順位	保険者名	人数 割合	順位	保険者名	人数 割合	順位	保険者名	人数 割合	順位	保険者名	人数 割合	順位	保険者名	人数 割合
1	熱海市	386 17.7%	1	熱海市	167 7.7%	1	東伊豆町	130 11.9%	1	伊豆市	69 2.6%						
2	西伊豆町	83 17.3%	2	伊東市	461 6.8%	2	湖西市	439 10.3%	2	小山町	31 2.3%						
3	長泉町	336 16.1%	3	湖西市	286 6.7%	3	西伊豆町	48 10.0%	3	川根本町	15 2.2%						
4	松崎町	82 15.8%	4	裾野市	197 6.3%	4	川根本町	67 9.8%	4	御殿場市	101 2.1%						
5	清水町	243 15.8%	5	袋井市	302 5.7%	5	伊東市	661 9.7%	5	島田市	124 2.0%						
6	下田市	170 15.6%	6	御殿場市	276 5.6%	6	磐田市	951 9.6%	6	伊豆の国市	65 2.0%						
7	焼津市	1,140 15.3%	7	伊豆市	146 5.5%	7	裾野市	295 9.4%	7	伊東市	132 1.9%						
8	伊豆市	384 14.6%	8	伊豆の国市	176 5.5%	8	松崎町	48 9.3%	8	河津町	9 1.8%						
9	伊豆の国市	466 14.5%	9	沼津市	527 5.1%	9	島田市	549 9.0%	9	長泉町	37 1.8%						
10	静岡市	4,976 14.5%	10	三島市	308 5.0%	10	静岡市	3,091 9.0%	10	三島市	106 1.7%						
11	三島市	896 14.4%	11	静岡市	1,712 5.0%	11	伊豆の国市	288 8.9%	11	松崎町	9 1.7%						
12	富士宮市	977 14.4%	12	小山町	66 4.9%	12	浜松市	3,031 8.8%	12	湖西市	69 1.6%						
13	河津町	70 14.4%	13	富士市	525 4.8%	13	沼津市	881 8.5%	13	静岡市	533 1.6%						
14	沼津市	1,486 14.3%	14	清水町	70 4.5%	14	三島市	530 8.5%	14	沼津市	154 1.5%						
15	御殿場市	705 14.3%	15	長泉町	93 4.4%	15	小山町	115 8.5%	15	磐田市	153 1.5%						
16	伊東市	962 14.1%	16	浜松市	1,531 4.4%	16	富士宮市	570 8.4%	16	焼津市	115 1.5%						
17	裾野市	442 14.1%	—	県計	8,655 4.4%	17	清水町	128 8.3%	17	裾野市	46 1.5%						
18	御前崎市	322 14.1%	17	富士宮市	276 4.1%	18	熱海市	178 8.2%	18	浜松市	524 1.5%						
19	小山町	188 13.9%	18	焼津市	295 4.0%	19	伊豆市	217 8.2%	—	県計	2,967 1.5%						
—	県計	26,972 13.8%	19	函南町	66 4.0%	20	長泉町	170 8.1%	19	熱海市	31 1.4%						
20	藤枝市	1,079 13.7%	20	磐田市	332 3.4%	—	県計	15,607 8.0%	20	袋井市	76 1.4%						
21	湖西市	580 13.6%	21	掛川市	221 3.4%	21	御前崎市	175 7.7%	21	富士宮市	90 1.3%						
22	東伊豆町	148 13.5%	22	松崎町	15 2.9%	22	焼津市	537 7.2%	22	藤枝市	99 1.3%						
23	島田市	819 13.4%	23	島田市	170 2.8%	23	御殿場市	353 7.2%	23	下田市	14 1.3%						
24	南伊豆町	67 13.3%	24	川根本町	18 2.6%	24	函南町	117 7.0%	24	函南町	21 1.3%						
25	川根本町	91 13.3%	25	下田市	26 2.4%	25	藤枝市	545 6.9%	25	富士市	133 1.2%						
26	函南町	221 13.2%	26	菊川市	74 2.4%	26	富士市	676 6.1%	26	掛川市	75 1.2%						
27	牧之原市	374 13.1%	27	東伊豆町	24 2.2%	27	菊川市	174 5.7%	27	東伊豆町	13 1.2%						
28	袋井市	690 13.0%	28	吉田町	27 2.0%	28	掛川市	351 5.4%	28	南伊豆町	6 1.2%						
29	森町	167 13.0%	29	牧之原市	54 1.9%	29	森町	67 5.2%	29	清水町	19 1.2%						
30	菊川市	395 13.0%	30	御前崎市	41 1.8%	30	河津町	25 5.1%	30	吉田町	15 1.1%						
31	吉田町	176 12.9%	31	藤枝市	132 1.7%	31	南伊豆町	22 4.4%	31	西伊豆町	5 1.0%						
32	掛川市	830 12.8%	32	森町	21 1.6%	32	下田市	46 4.2%	32	牧之原市	29 1.0%						
33	浜松市	4,399 12.8%	33	西伊豆町	7 1.5%	33	袋井市	120 2.3%	33	御前崎市	20 0.9%						
34	富士市	1,382 12.6%	34	南伊豆町	7 1.4%	34	牧之原市	10 0.3%	34	森町	10 0.8%						
35	磐田市	1,240 12.5%	35	河津町	6 1.2%	35	吉田町	2 0.1%	35	菊川市	19 0.6%						

令和4年度及び5年度の国民健康保険税率設定について

1 基本的な方針

- ① 静岡県国民健康保険運営方針に従い改正案を作成し、島田市国民健康保険運営協議会の答申を受け方針決定する。 **令和3年度に運営方針が改定。(3年ごとの改正)**
- ② 現行の4・3・2方式を改正し、3・3・2方式を採用する。(医療給付費分の資産割を廃止する。) **令和元年度から3・3・2方式を適用**
- ③ 医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分のバランスについて、標準保険料率を参考に改正する。 **標準保険料率は毎年変動しており、バランスも変動する**
- ④ 事業費納付金を納付するために必要な国民健康保険税額が現行税率で充足しない場合、税率の引き上げをする。 **第2期運営方針において、保険料水準統一の定義が示されていないため、令和4年度の税率改正は行わない。今後、運営方針に統一の定義が示された時点で税率改正検討を行う。なお、国保会計の決算において不足が生じた場合には事業基金等を取り崩し補てんする。【事業基金等残高4億円が確保できなくなった時点で、次年度に税率改正を行う。】**

2 課題

- ① H30年度から始まった新国保制度が安定するまでの間、しばらくは不確定要素が多いため、事業費納付金及び標準保険料率が毎年変動する。
- ② 被保険者数や所得の予測が難しい。(新型コロナの影響や団塊の世代の後期高齢者制度移行、被用者保険の適用拡大等の影響が予測困難)
- ③ 県内保険料率統一の方法や統一の具体的時期等についての動向は、未だ不透明である。
- ④ ①～③の理由により需要額予測が難しい。

3 今後の予定

令和4年度以降、新型コロナウイルスの影響等による所得減少や団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行、被用者保険の適用拡大等による被保険者の減少が予想され、国保税調定額の減少傾向が一層加速すると見込まれる。各年度本算定時の国保税調定額が確定した時点で、事業費納付金額や事業基金等残高、国県の方針や他市町の動向を踏まえ、税率改正の時期等について再検証し、運営協議会へ御報告する。

静岡県国民健康保険運営方針における保険料水準の統一に向けてのイメージ



広域化に伴う国民健康保険税率設定スケジュール

運営方針	改定期	第1期(2018~2020年度)			第2期(2021~2023年度)			第3期(2024~2026年度)			第4期(2027~2029年度)		
	概要	<p>県内市町の保険料率を急激に変動させないよう、以下の方法で納付金及び標準保険料率を算定。保険料率統一の目標時期は2020年度までに市町と協議</p> <p>○各市町の医療費水準を反映(α=1) 当市の指数0.88/県平均0.92 この指数が低いほど納付金が減額補正される。</p> <p>○保険者規模別目標収納率を設定</p> <p>【重点取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資産割の廃止(R1年度税率改正により廃止) ●赤字繰入の段階的解消(赤字繰入なし) ●高水準での収納率平準化(収納率市の部1位) 			<p>2027年度までに、医療費適正化の取組、賦課方式の統一の取組、収納率向上の取組、赤字繰入れの解消・削減の取組などを行い、市町との合意を経て、到達可能な段階の保険料水準の統一を目指す</p> <p>○各市町の医療費水準を反映(α=1) ○保険者規模別目標収納率を引上げ</p> <p>【重点取組目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療費適正化の取組 ●資産割の廃止(R1年度税率改正により廃止) ●赤字繰入の段階的解消(赤字繰入なし) ●高水準での収納率平準化(R4.2現在整備) 			<p>【今後の方向性】</p> <p>2027年度の保険料水準の統一を見据え、以下の課題を協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●医療費水準を反映しない算定方法への移行手法 ①α=1→α=0 ②段階的にα=0へ移行 ●保険料水準統一の定義を決定 ①完全統一・・・納付金額=保険料収納必要額 ②納付金のみ統一・・・市町向け公費と保健事業費を除く納付金部分を統一 ③収納率格差・直診以外統一・・・収納率の割戻分・直診分・財政安定化基金償還分以外を統一 ④直診以外統一・・・直診事業分・財政安定化基金償還分以外を統一 ●後期高齢者支援金等課税額分世帯別平等割の是非・・・3・3・2 or 3・2・2方式 ●減免基準の完全統一・・・減免割合や判定基準等の完全統一 ●県内全市町での事務処理標準化、効率化、共同化、広域化・集約化への移行手法検討 					
年度	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	
当市の税率改正	広域化スタート	基礎課税額分資産割を廃止しその減収相当分について同所得割を引き上げた。ただし、被保険者の急激な負担を軽減するため、令和4年度を到達年度とし、各年度において段階的な引き上げとした。またこの緩和措置により、各年度で不足する収収分は事業基金等を取り崩し補てんすることとした。			2027年度の保険料水準統一を見据え、統一後、当市の被保険者に急激な負担増が生じないように、第3期で示される運営方針に合わせて適切な税率案を策定する。								
事業費納付金額	2,569,040千円	2,578,394千円	2,581,465千円	2,480,874千円	2,403,826千円								
事業基金残高	704,314千円	704,371千円	704,422千円										
単年度収支	99,476千円	△11,144千円	△25,550千円										
基礎課税額	所得割 ○内は条例上の%	5.1%	据え置き(6.6%)	5.8% (6.6%)	6.2% (6.6%)	6.6%	6.6%						
	資産割	20%	廃止										
	均等割	27,800円	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き						
	平等割	21,600円	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き						
	賦課限度額	540,000円	580,000円	610,000円	630,000円	据え置き	650,000円(予定)						
後期高齢者 支援金等 課税額	所得割	1.9%	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き						
	均等割	8,000円	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き						
	平等割	8,000円	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き						
	賦課限度額	190,000円	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	200,000円(予定)					
介護納付金 課税額	所得割	1.80%	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き						
	均等割	12,600円	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き	据え置き						
	賦課限度額	160,000円	据え置き	据え置き	170,000円	据え置き	据え置き						

医療機関でのオンライン資格確認の導入支援(厚生労働省)

令和4年2月現在

支援の種別	項目	支援の概要					
		病院			大型チェーン薬局	診療所・その他薬局	
補助金	顔認証付カードリーダーの無償提供	3台まで			1台	1台	
	その他の導入費用補助	項目	資格確認端末の導入台数				
	【対象費用】		1台	2台	3台	要件無	要件無
	①カードの読取・資格確認等のソフトウェア・機器の導入	補助率	1/2	1/2	1/2	1/2	3/4
	②ネットワーク環境の整備	上限額	105万円	100.1万円	95.1万円	42.9万円	32.1万円
	③レセプトコンピュータ、電子カルテシステム等の改修	※消費税分も補助対象(上限額は税込み額)					
【対象期間】 令和5年3月末までに実施し同6月末までに申請した分							
情報提供	医療機関での導入に係る以下の参考資料	厚生労働省ホームページ(医療機関・薬局・システムベンダー向け)で情報公開					
	①準備作業の手引き	制度の仕組み、システム等導入までの流れ、具体的な準備作業を説明					
	②FAQ よくある問い合わせ	導入申請にあたっての医療機関からの質問を紹介					
	③業務フロー	利用開始手続きの医療機関の種類別(病院・診療所・薬局)の業務フローを説明					
	④電子申請システムのセキュリティガイドライン	組織・体制、物理的・人的・技術的セキュリティ、システム管理等を説明					
	⑤セキュリティアセスメントによる対策例	アセスメントの進め方、アセスメント結果、セキュリティ対策を説明					
	⑥システム端末の推奨要件	OS、通信機器、機器の納入にあたっての推奨要件を説明					
	⑦個人情報の利用目的の例示	オンライン資格確認の実施にあたる個人情報の利用目的の患者への例示を説明					
協議会設置 (予定)	オンライン資格確認推進協議会	日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会で構成、好事例の情報共有などを目的					
	システム事業者導入促進協議会	大手システム事業者を中心に構成、システム事業者からの支援と働きかけ					
診療報酬改定 (予定)	電子的保健医療情報活用加算の新設 初診料:7点、再診料・外来診療料:4点 調剤管理料:3点	オンライン資格確認等システムを通じて患者の薬剤情報・特定健診情報等を取得・活用して診療等を実施した場合の評価を新設					

マイナンバーカードの保険証利用登録の促進支援(島田市)

令和4年2月現在

項目	支援の概要
窓口での登録支援	国保年金課窓口でマイナポータルによるマイナンバーカードの健康保険証利用登録を支援 専用端末:1台、業務時間内に随時受付
登録に係る周知・啓発	保険税の当初課税通知に同封する国保だよりに登録に関する記事を掲載して個別に周知 窓口での新規加入者に保険証利用登録に関するチラシを配布して周知 ホームページにて保険証利用登録に関する事項を周知 広報紙で保険証利用登録に関する事項を周知(予定) 市公式LINEでマイナンバーカードの取得に合わせて保険証利用登録を周知(予定) 行政情報広告モニターで保険証利用登録に関する事項を周知(予定)

マイナンバーカードの普及に向けた支援(総務省・デジタル庁・厚生労働省)

令和4年2月現在

【マイナポイントの付与】 マイナンバーカードを活用して、幅広いサービスや商品の購入に利用できるマイナポイントを付与

対象	ポイント付与数	付与方式	申込期間	カードの申請期限
カード新規取得	最大5,000円相当	プレミアム方式 ポイント付与25%	R4.1~R5.2	R4.9
健康保険証利用申込	各7,500円相当	直接付与方式	R4.6~R5.2	
公金受取口座登録				

令和2年度医療費分析結果の概要

用語説明

医療費諸率(特定の集団における医療費の水準を図る指標)

項目	説明
1人当たり費用額	費用額÷年間平均被保険者数 医療費の水準を図る代表的な指標で、「1人当たり件数(=受診率)」、「1件当たり日数」、「1日当たり費用額」の積に分解できる。
受診率	件数÷年間平均被保険者数×100 一定期間内に医療機関にかかった者の割合(受診件数)を表す指標で、受診率が高いということは医療機関にかかる者の割合が高いことを示す。100人当たりの受診件数を表している。
1件当たり費用額	費用額÷件数 1件毎の医療費の月額単価を表す指標で、1件当たり費用額が高いということは1月の診療にかかる費用が高いことを示す。
1件当たり日数	日数÷件数 一定期間内に同一の医療機関に通院(入院)した平均的な日数を表す指標で、1件当たり日数が高いということは入院期間が長い、又は通院頻度が高いことを示す。
1日当たり費用額	費用額÷日数 医療費の日額単価を表す指標で、1日当たり費用額が高いということは1回の診療又は1日の入院にかかる費用が高いことを示す。

医療費の3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり費用額)

医療費を分析するうえで基本的な指標、3要素の中で高い指標を確認することで医療費の増加要因を探る。

項目	医療需要側(患者)に関する要因	医療供給側(医師、医療機関)に関する要因
受診率	健康度、症状の程度、受診意識	医療機関数、医師数、病床数
1件当たり日数	疾病構造、症状の程度、受診意識	診療行為(治療の継続性)
1日当たり費用額	疾病構造、症状の程度	診療行為(医療設備等の水準)

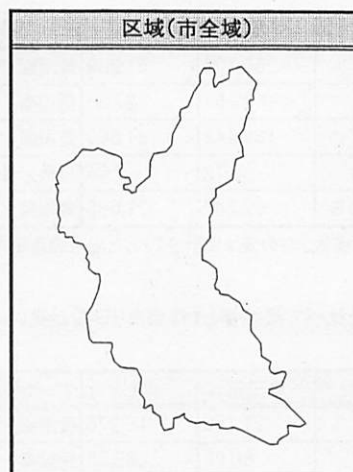
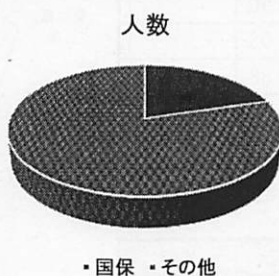
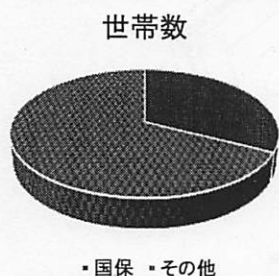
諸率(医療費の3要素)別の医療費抑制対策

諸率	医療費の上昇要因	医療費抑制対策																
受診率	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">要因項目</th> <th style="text-align: center;">医療費の上昇要因の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">受診件数</td> <td>●経過観察等のため毎月定期受診している</td> </tr> <tr> <td>●複数部位で疾患があり複数の医療機関を受診している</td> </tr> <tr> <td>●初期症状の段階でこまめに受診している</td> </tr> <tr> <td>▲不安解消などのため必要以上に受診している</td> </tr> <tr> <td>▲同一の疾患で複数の医療機関を受診している</td> </tr> <tr> <td>▲重症化して受診するため治療が長期化する</td> </tr> </tbody> </table>	要因項目	医療費の上昇要因の具体例	受診件数	●経過観察等のため毎月定期受診している	●複数部位で疾患があり複数の医療機関を受診している	●初期症状の段階でこまめに受診している	▲不安解消などのため必要以上に受診している	▲同一の疾患で複数の医療機関を受診している	▲重症化して受診するため治療が長期化する	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">受診件数適正化対策の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◆頻回受診者への受診抑制の指導</td> </tr> <tr> <td>◆同一疾病での重複受診者への受診適正のための指導</td> </tr> <tr> <td>◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導</td> </tr> <tr> <td>◆合併症などによる複数医療機関受診防止のため適正な受診を促す</td> </tr> <tr> <td>◆市販薬の服用等による自己治療(セルフメディケーション)の啓発</td> </tr> <tr> <td>◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導</td> </tr> </tbody> </table>	受診件数適正化対策の具体例	◆頻回受診者への受診抑制の指導	◆同一疾病での重複受診者への受診適正のための指導	◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導	◆合併症などによる複数医療機関受診防止のため適正な受診を促す	◆市販薬の服用等による自己治療(セルフメディケーション)の啓発	◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導
要因項目	医療費の上昇要因の具体例																	
受診件数	●経過観察等のため毎月定期受診している																	
	●複数部位で疾患があり複数の医療機関を受診している																	
	●初期症状の段階でこまめに受診している																	
	▲不安解消などのため必要以上に受診している																	
	▲同一の疾患で複数の医療機関を受診している																	
	▲重症化して受診するため治療が長期化する																	
受診件数適正化対策の具体例																		
◆頻回受診者への受診抑制の指導																		
◆同一疾病での重複受診者への受診適正のための指導																		
◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導																		
◆合併症などによる複数医療機関受診防止のため適正な受診を促す																		
◆市販薬の服用等による自己治療(セルフメディケーション)の啓発																		
◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導																		
一件当たり日数	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">要因項目</th> <th style="text-align: center;">医療費の上昇要因の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">受診日数</td> <td>●経過観察等のための定期受診の頻度が高い</td> </tr> <tr> <td>▲不安解消などのため必要以上に受診している</td> </tr> <tr> <td>▲重症化して受診するため治療日数が増える</td> </tr> </tbody> </table>	要因項目	医療費の上昇要因の具体例	受診日数	●経過観察等のための定期受診の頻度が高い	▲不安解消などのため必要以上に受診している	▲重症化して受診するため治療日数が増える	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">受診日数適正化対策の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◆頻回受診者への受診抑制の指導</td> </tr> <tr> <td>◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導</td> </tr> <tr> <td>◆病気の進行による受診日数の増加抑制のため適正な受診を促す</td> </tr> <tr> <td>◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導</td> </tr> </tbody> </table>	受診日数適正化対策の具体例	◆頻回受診者への受診抑制の指導	◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導	◆病気の進行による受診日数の増加抑制のため適正な受診を促す	◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導					
要因項目	医療費の上昇要因の具体例																	
受診日数	●経過観察等のための定期受診の頻度が高い																	
	▲不安解消などのため必要以上に受診している																	
	▲重症化して受診するため治療日数が増える																	
受診日数適正化対策の具体例																		
◆頻回受診者への受診抑制の指導																		
◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導																		
◆病気の進行による受診日数の増加抑制のため適正な受診を促す																		
◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導																		
一日当たり費用額	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">要因項目</th> <th style="text-align: center;">医療費の上昇要因の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">日額単価</td> <td>●定期検査の単価が高い</td> </tr> <tr> <td>●医療設備等が整い単価の高い医療を受けている</td> </tr> <tr> <td>▲患者側が単価の高い医療を希望する</td> </tr> <tr> <td>▲重症化して受診するため単価の高い医療が必要となる</td> </tr> </tbody> </table>	要因項目	医療費の上昇要因の具体例	日額単価	●定期検査の単価が高い	●医療設備等が整い単価の高い医療を受けている	▲患者側が単価の高い医療を希望する	▲重症化して受診するため単価の高い医療が必要となる	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">重症化予防対策の具体例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導</td> </tr> <tr> <td>◆病気の進行による日額単価の増加抑制のため適正な受診を促す</td> </tr> <tr> <td>◆治療効果と日額単価の違いなど適正な治療に関する情報提供</td> </tr> <tr> <td>◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導</td> </tr> </tbody> </table>	重症化予防対策の具体例	◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導	◆病気の進行による日額単価の増加抑制のため適正な受診を促す	◆治療効果と日額単価の違いなど適正な治療に関する情報提供	◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導				
要因項目	医療費の上昇要因の具体例																	
日額単価	●定期検査の単価が高い																	
	●医療設備等が整い単価の高い医療を受けている																	
	▲患者側が単価の高い医療を希望する																	
	▲重症化して受診するため単価の高い医療が必要となる																	
重症化予防対策の具体例																		
◆健診の受診勧奨など疾病の早期発見のための指導																		
◆病気の進行による日額単価の増加抑制のため適正な受診を促す																		
◆治療効果と日額単価の違いなど適正な治療に関する情報提供																		
◆健診結果が医療機関受診勧奨値以上の者への早期受診の指導																		

国民健康保険の医療費等の状況(島田市)

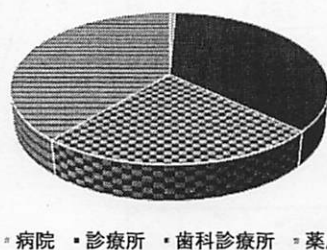
①被保険者数等

区分	世帯数(世帯)			人数(人)		
	国保(a)	市全体(b)	割合(a)/(b)	国保(c)	市全体(d)	割合(c)/(d)
R3.3	12,528	38,618	32.44%	19,816	97,470	20.33%



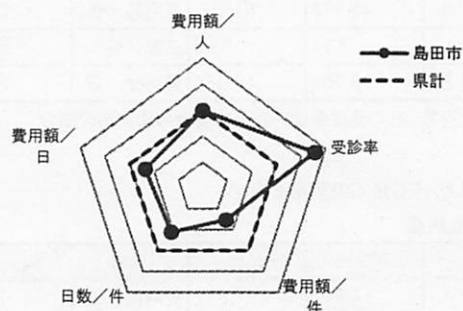
②医療機関の状況(令和3年4月1日現在)

種別	施設数	割合
病院	1	0.69%
診療所	52	36.11%
歯科診療所	35	24.31%
薬局	56	38.89%
合計	144	-



③医療費諸率の状況(令和2年度)

諸率	島田市	県計	諸率	島田市	県計
費用額/人	338,047	338,174	費用額/人	1.00	1
受診率	1,098.76	1,018.85	受診率	1.08	1
費用額/件	30,766	33,192	費用額/件	0.93	1
日数/件	1.73	1.81	日数/件	0.96	1
費用額/日	17,795	18,368	費用額/日	0.97	1



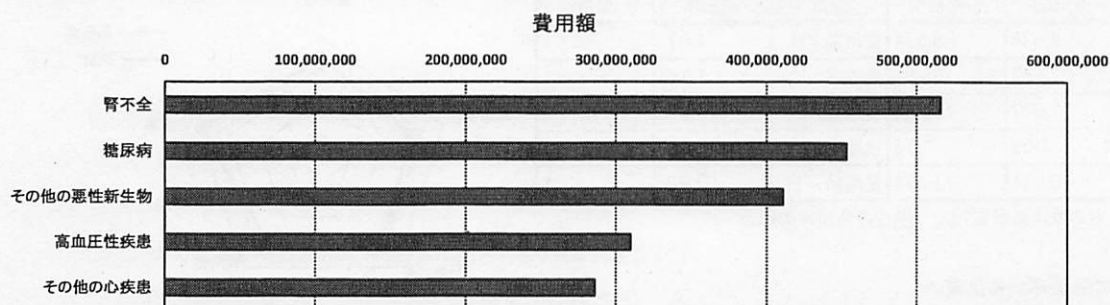
左の表は実数、右の表は県計を1とした場合の島田市の割合

● 県計と比べて受診率が高い

④疾病別の医療費の状況(令和2年度) 費用額の上位5疾病を抽出

疾病名称	費用額	割合	受診率	日数/件	費用額/日
腎不全	515,783,350	8.00%	7.56	9.27	35,500
糖尿病	452,793,780	7.02%	82.22	1.15	23,051
その他の悪性新生物	410,876,220	6.37%	8.91	3.62	61,453
高血圧性疾患	309,754,920	4.81%	118.28	1.12	11,323
その他の心疾患	285,946,750	4.44%	27.29	1.39	36,389

生活習慣病

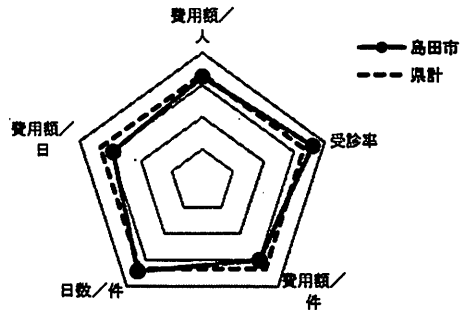


● 費用額の上位5疾病のうち、4疾病が生活習慣病となっている。上位5疾病が医療費全体の約30%を占めている。

⑤生活習慣病の医療費の状況(令和2年度) 費用額の高い疾病や死亡原因として多い5疾病を抽出
がん

諸率	島田市	県計	諸率	島田市	県計
費用額/人	50,107	51,269	費用額/人	0.98	1
受診率	29.57	27.33	受診率	1.08	1
費用額/件	169,448	187,563	費用額/件	0.90	1
日数/件	2.72	2.64	日数/件	1.03	1
費用額/日	62,247	71,082	費用額/日	0.88	1

左の表は実数、右の表は県計を1とした場合の島田市の割合

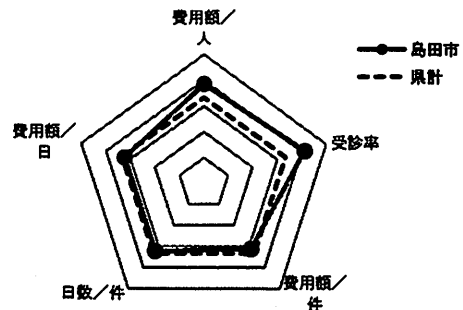


●県計と比べて受診率と1件当たり日数が高い

糖尿病

諸率	島田市	県計	諸率	島田市	県計
費用額/人	21,158	18,270	費用額/人	1.16	1
受診率	80.99	65.55	受診率	1.24	1
費用額/件	26,123	27,870	費用額/件	0.94	1
日数/件	1.15	1.19	日数/件	0.97	1
費用額/日	22,688	23,361	費用額/日	0.97	1

左の表は実数、右の表は県計を1とした場合の島田市の割合

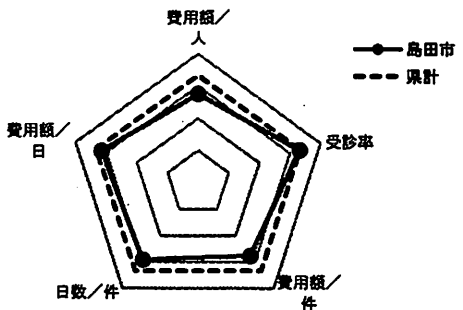


●県計と比べて1人当たり費用額と受診率が高い

精神

諸率	島田市	県計	諸率	島田市	県計
費用額/人	18,908	22,887	費用額/人	0.83	1
受診率	43.80	44.05	受診率	0.99	1
費用額/件	43,173	51,957	費用額/件	0.83	1
日数/件	3.11	3.55	日数/件	0.88	1
費用額/日	13,864	14,634	費用額/日	0.95	1

左の表は実数、右の表は県計を1とした場合の島田市の割合

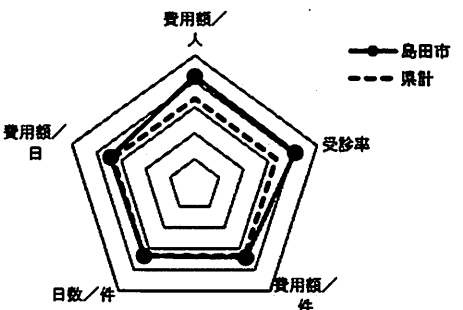


●県計と比べて全ての諸率が低い

高血圧性疾患

諸率	島田市	県計	諸率	島田市	県計
費用額/人	14,942	11,862	費用額/人	1.26	1
受診率	118.28	96.00	受診率	1.23	1
費用額/件	12,633	12,356	費用額/件	1.02	1
日数/件	1.12	1.12	日数/件	1.00	1
費用額/日	11,323	10,987	費用額/日	1.03	1

左の表は実数、右の表は県計を1とした場合の島田市の割合

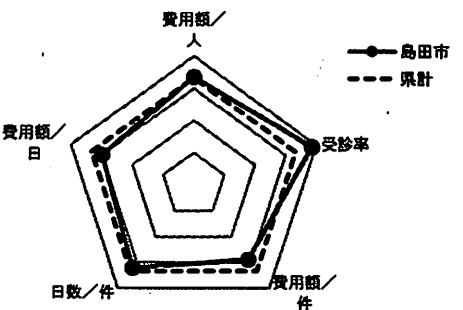


●県計と比べて1人当たり費用額と受診率が特に高い

脂質異常症

諸率	島田市	県計	諸率	島田市	県計
費用額/人	8,626	8,574	費用額/人	1.01	1
受診率	73.87	63.81	受診率	1.16	1
費用額/件	11,677	13,436	費用額/件	0.87	1
日数/件	1.09	1.13	日数/件	0.96	1
費用額/日	10,684	11,894	費用額/日	0.90	1

左の表は実数、右の表は県計を1とした場合の島田市の割合

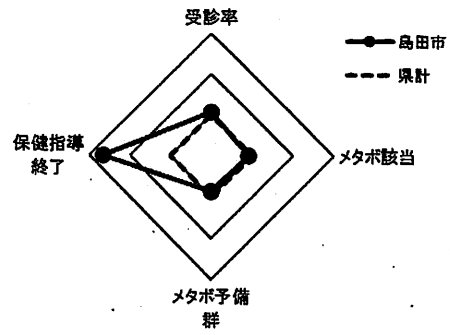


●県計と比べて受診率が特に高い

⑥特定健診の受診状況(令和元年度)

項目	島田市	県計	項目	島田市	県計
受診率	35.48	33.18	受診率	1.07	1
メタボ該当	15.93	17.56	メタボ該当	0.91	1
メタボ予備群	8.69	10.12	メタボ予備群	0.86	1
保健指導終了	87.15	32.75	保健指導終了	2.66	1

左の表は実数(該当者の割合)、右の表は県計を1とした場合の島田市の割合

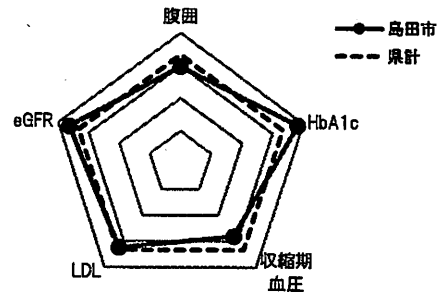


●県計と比べて保健指導終了率が特に高い

⑦特定健診の検査結果(令和元年度) 令和元年度において、該当者数の上位5以内の検査項目を抽出

項目	島田市	県計	項目	島田市	県計
腹囲	27.65	31.02	腹囲	0.89	1
HbA1c	70.15	61.36	HbA1c	1.14	1
収縮期血圧	36.82	43.62	収縮期血圧	0.84	1
LDL	52.87	54.20	LDL	0.98	1
eGFR	23.89	21.87	eGFR	1.09	1

左の表は実数(該当者の割合)、右の表は県計を1とした場合の島田市の割合



●県計と比べてHbA1cとeGFRの該当者の割合が高い

データ出典:しずおか茶っどシステム(③~⑦)

中学校区別の医療費等の特徴

島一中

区分	内容
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ●市と比較して受診率が高い。 ●生活習慣病を市と比較して糖尿病(受診件数、日額単価)、精神(受診日数、月額単価)、脂質異常症(受診件数)の1人当たり費用額が特に高い。 ●健診の検査項目を市と比較して腹囲と収縮期血圧が高い。
課題・対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療全体では受診件数適正化対策が効果的 ●生活習慣病では糖尿病と脂質異常症の受診件数適正化対策、精神の重症化予防対策が効果的

島二中

区分	内容
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ●市と比較して1件当たり日数及び費用額が高い。 ●生活習慣病を市と比較して精神(受診件数)の1人当たり費用額が特に高い。 ●健診の受診率が低く、検査項目を市と比較してeGFRが高い。
課題・対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療全体では重症化予防対策が効果的 ●生活習慣病では精神の受診件数適正化対策が効果的 ●健診の受診率向上対策が効果的

六合中

区分	内容
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ●市と比較して1件当たり日数が高い。 ●生活習慣病を市と比較してがん(月額・日額単価、受診日数)の1人当たり費用額が特に高い。 ●健診の検査項目を市と比較してLDLとeGFRが高い。
課題・対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療全体では受診日数適正化対策が効果的 ●生活習慣病ではがんの重症化予防対策が効果的

旧北中

区分	内容
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ●市と比較して受診率が高い。 ●生活習慣病を市と比較して糖尿病(受診件数)、高血圧性疾患(受診件数)の1人当たり費用額が高い。 ●健診の検査項目を市と比較して収縮期血圧が特に高い。
課題・対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療全体では受診件数適正化対策が効果的 ●生活習慣病では糖尿病と高血圧性疾患の受診件数適正化対策が効果的

初倉中

区分	内容
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ●市と比較して全診率が低い。 ●生活習慣病を市と比較して糖尿病(受診件数)、脂質異常症(月額・日額単価)の1人当たり費用額が特に高い。 ●健診の受診率が低く、検査項目を市と比較してLDLが高い。
課題・対策	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病では糖尿病の受診件数適正化対策、脂質異常症の重症化予防対策が効果的 ●健診の受診率向上対策が効果的

金谷中

区分	内容
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ●市と比較して1件当たり費用額と1日当たり費用額が高い。 ●生活習慣病を市と比較して糖尿病(受診件数)の1人当たり費用額が特に高い。 ●健診の検査項目を市と比較してHbA1cが高い。
課題・対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療全体では重症化予防対策が効果的 ●生活習慣病では糖尿病の受診件数適正化対策が効果的

川根中

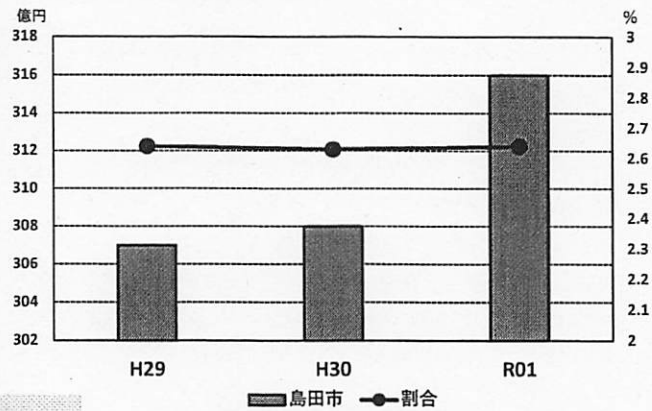
区分	内容
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ●市と比較して受診率と1日当たり費用額が高い。 ●生活習慣病を市と比較してがん(月額・日額単価)、高血圧性疾患(受診件数)の1人当たり費用額が特に高い。 ●健診の検査項目を市と比較してHbA1cが特に高い。
課題・対策	<ul style="list-style-type: none"> ●医療全体では受診件数適正化対策と重症化予防対策が効果的 ●生活習慣病ではがんの重症化予防対策、高血圧性疾患の受診件数適正化対策が効果的

島田市の医療費の推移

①総医療費(厚生労働省:国民医療費(保険診療外の医療費、出産、健診・予防接種等の費用を除く)から推計)

単位:億円、割合は%

区分	H29	H30	R01
静岡県	11,642	11,716	11,977
島田市	307	308	316
割合	2.64	2.63	2.64



- 県、市ともに医療費は毎年増加傾向
- 県全体に占める島田市の医療費の割合は概ね横ばいで推移

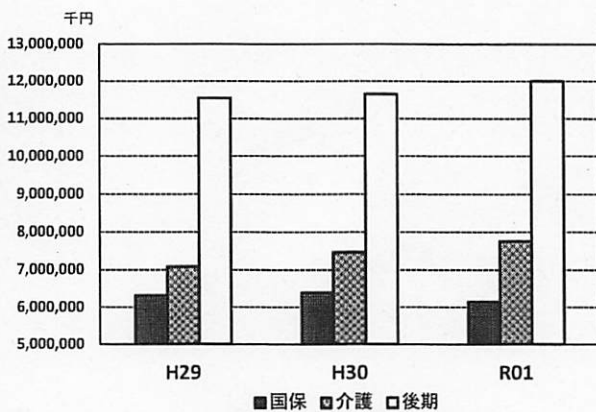
②各保険の給付費の推移

給付費実績額 単位:千円

区分	H29	H30	R01
後期	11,545,116	11,654,835	12,001,035
国保	6,309,130	6,388,199	6,144,950
介護	7,077,898	7,463,618	7,753,884

前年比増減率 単位:%

区分	H30	R01
後期	0.95	2.97
国保	1.25	△ 3.81
介護	5.45	3.89



後期は各給付の費用額(10割分の額)の合計

後期、国保は令和元年度は新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響あり

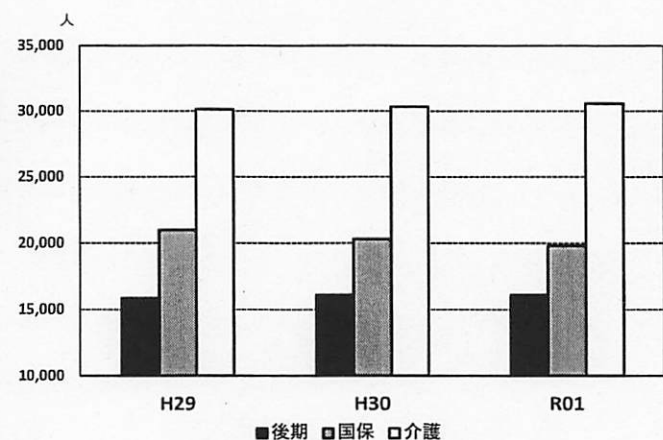
③各保険の年度末被保険者数の推移

被保険者数 単位:人

区分	H29	H30	R01
後期	15,870	16,106	16,103
国保	20,973	20,291	19,816
介護	30,129	30,327	30,585

前年比増減率 単位:%

区分	H30	R01
後期	1.49	△ 0.02
国保	△ 3.25	△ 2.34
介護	0.66	0.85



- 令和元年度を除き、いずれの保険も給付の増減率>被保険者数の増減率となっている。
- 特に国保では被保険者数は減少傾向であるが、給付費がその減少率に見合うほど減っていない。